

農作業コツのコツ

【第1号】

令和8年3月14日
福光農業改良協議会
砺波農林振興センター南砺班
福光農業協同組合 営農部

春の農作業安全運動実施中
作業前に農業機械作業の安全対策を点検しましょう。

生産履歴の記帳やGAP「良い農業（持続可能な農業）」活動を実践しましょう。

近年、高温等の気象変動が大きくなっており、初期茎数の確保のための健苗育成が重要となっています。健苗育成は適正な育苗計画を立てて、浸種温度確保で出芽揃いを良くしましょう。

令和8年産用の種子(令和7年産種子)は、昨年の種子より休眠がやや深くなっていることから、浸種初日の水温(12.5℃)を確保するとともに、浸種日数を1~2日程度長くするなど、浸種積算温度を十分に確保しましょう。

水 稲

1 育苗計画

浸種初日の水温(12.5℃)、浸種積算温度は早生で140~150℃、てんこもりで130℃以上、コシヒカリで120℃以上を確保する。

育苗計画の目安(種子消毒:モミガードC水和剤)

	品 種	種子消毒	浸種期間 (日数、積算温度(12℃/日として))	播種日	田植日
慣行苗	てんたかく 81 とみちから 五百万石	3/28~29	3/28~4/10(13日、156℃)	4/12(日)	5/3(日)
	てんこもり	4/7~8	4/7~18(11日、132℃)	4/20(月)	5/11(月)
	コシヒカリ	4/14~15	4/14~24(10日、120℃)	4/26(日)	5/15(金)
密苗	てんたかく 81	4/1~4/2	4/1~14(13日、156℃)	4/16(木)	5/3(日)
	てんこもり	4/11~12	4/11~22(11日、132℃)	4/24(金)	5/11(月)
	コシヒカリ	4/16~17	4/16~26(10日、120℃)	4/28(火)	5/15(金)

※収穫時期が重ならないよう、早生はてんたかく 81 から先に作業を始めましょう。

2 種子消毒 ~消毒液の温度は12.5℃で!!~

(1) モミガードC水和剤の場合

使用方法

使用時期	浸種前	希釈倍数	200倍	使用方法	24時間浸漬
------	-----	------	------	------	--------

- ・希釈した薬液に種籾ネットをつけたら、よくゆすって全体に付着させましょう。
- ・種子消毒が浸種の初日となるため、消毒液の温度は12.5℃を保つようにしましょう。
- ・消毒後の種籾を軽く乾かしてから浸種し、薬剤の効果を保つため2日間は水を入れ換えないようにしましょう。

※消毒後の残液は、河川等に流出しないよう適正に処理しましょう。

(2) タフブロックの場合

使用方法

使用時期	浸種最後の水換え時	希釈倍数	200倍	使用方法	24~48時間浸漬
------	-----------	------	------	------	-----------

- ・希釈した薬液に種籾ネットをつけたら、よくゆすって全体に付着させましょう。
- ・種籾を取り出すときは、籾表面に付いた有効微生物がとれないようにゆっくり取り出すようにしましょう。

【タフブロック使用に当たっての注意点】

- ・きれいな種籾、床土、覆土を使用する。
- ・処理後は速やかに播種し、直射日光や極端な高温は避ける。
- ・ダコレート水和剤やベンレート水和剤の土壌かん注は行わない(ナエファインフロアブルは使用可能)。

3 浸種 ～初日の水温が大事～

- (1) 出芽ムラを少なくするため、種籾を種籾ネットに入れる量は半分程度としましょう。
- (2) 浸種には水道水などきれいな水を使用し、水量は種籾の2倍以上としましょう。
- (3) 出芽揃いを良くするため、**浸種初日は水温12.5℃を確保し、その後は10～15℃を目安に**水温を保ちましょう。

◇浸種の効果

- ①発芽に必要な水分を吸収させる。
- ②休眠物質等の発芽阻害物質を除去
- ③適温内で浸種させることにより、発芽のばらつきを是正し、出芽揃いがよくなる。

【浸種時温度管理】浸種開始時期や水温に応じて適正な温度になるように努めましょう。

水温が高い場合 (15℃以上)	日陰に置く、水のかけ流し、 頻繁な水の入替え
水温が低い場合 (10℃以下)	浸種桶を室内に設置し加温 さし湯を行う

- (4) 浸種開始2日間は水の保温に努め、その後は**1～2日毎に水の入替え**を行い、種籾に酸素を供給しましょう。その際は種籾ネットをよくゆすり、上下を入れ換えましょう。

移植栽培・カルパーコーティング直播栽培の浸種の日目安

品 種	水温	基準日数	積算温度
てんたかく 81 とみちから 五百万石	10～15℃	13 日間	140～150℃
てんこもり		11 日間	130℃以上
コシヒカリ		10 日間	120℃以上



十分に吸水した籾
※外から胚乳が見えるほど
種子籾がアメ色で透き通っている

※外気温が高い場合は、芽が伸び始めないように注意しましょう。

令和8年用種子は、十分な積算温度を確保するとともに、酸素不足とならないように、水の入替えも通常より間隔を短くしましょう。

4 春の土づくり

昨年秋に散布していない場合は春の耕起前に施用しましょう。

【珪酸質資材】

資材名	施用量(10a 当たり)
ケイカル	100kg 以上

【発酵鶏ふん】

	乾田	半湿田 ・粘湿田
施用量 (kg/10a)	100	75
基肥N減肥量 (kg/10a)	0～1	0～2

◇珪酸による米の品質向上効果

- ① 茎葉を強くし、受光態勢がよくなり光合成能力が高まり登熟歩合が向上する
- ② 茎が丈夫になり耐倒伏性、耐病性が期待される
- ③ 割籾を防ぎ、カメムシによる斑点米の被害を軽減する

※基肥の減肥はJAもしくは振興センターにご相談ください

春の農作業安全運動実施中（3/1～5/31）

- ・トラクター作業時の転倒・転落事故を防止するため、**農道等の危険箇所を事前に把握点検するとともに、路肩の補強を行うなど改善に努めましょう。**
- ・トラクターは、安全キャブや安全フレームがついた機体を使用し、**必ずシートベルトを着用しましょう。**